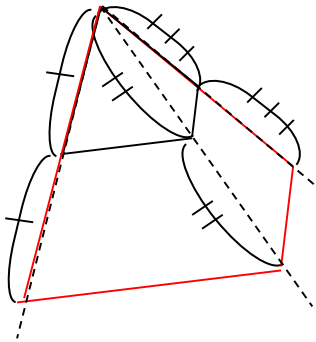


6年 14 解説	縮図や拡大図	年 組
		名前

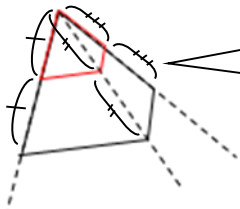
縮図や拡大図のかき方

○一つの点を中心にした2倍の拡大図のかき方



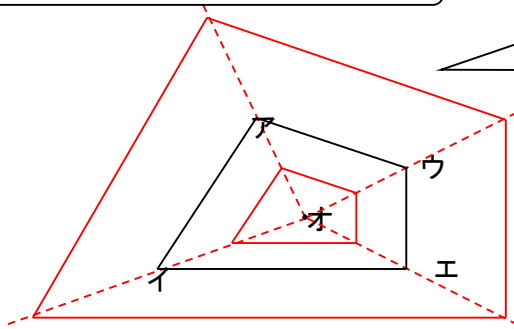
1つの頂点と他の頂点を結ぶ直線を利用して、2倍の長さに点を取り、後で結ぶことで拡大図をかくことができる。

○一つの点を中心にした $\frac{1}{2}$ の縮図のかき方



同じように $\frac{1}{2}$ の長さに点を取り、後で結ぶことで縮図をかくことができる。

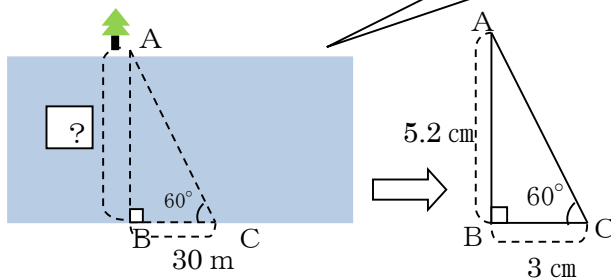
○中心を図形の中にとるかき方



中心を図形の中にとり、そこから頂点と結ぶ直線をのばして拡大図、縮図をかくこともできる。

実際には、測れないような長さも縮図を使って求めることができる。

縮図から長さをもとめる



長さの比は、等しいので、

$$3 : 5.2 = 3000 : \boxed{5200}$$

$$5200\text{cm} = 52\text{m}$$